

【2021年度 第2回：ふれあい講座（ミャンマー編）実施報告書】

9月25日（土）、「第2回ふれあい講座(ミャンマー編)」をオンライン（ZOOM）配信で開催致しました。

ミャンマー出身で県内在住の3名をゲストに迎え、JICA 沖縄センターから配信しました。来沖歴や今のお仕事などの自己紹介の後、自身が見に着けていた巻きスカートについて紹介し、ミャンマーではお寺に参拝する際や結婚式など、様々な行事に男女関係なく巻きスカートを着ますと画面越しに見せてくれました。また、事前に頂いていた10代の申込み者からの「ミャンマーの子ども達は今どんな遊びが流行っていますか？」という質問に、「今はコロナ禍なので外遊びが出来ず、日本の子どもたちと同じようにスマホでゲームや動画を見たり、チャットをしたりしていますが、コロナの前は日本の“鬼ごっこ”に似たような外遊びをしていました」と話してくれました。ゲストからは「沖縄では電車が無いことで不便を感じるけど、気候の過ごしやすさ、美しい海があることで沖縄に来て良かったと感じています」と沖縄の印象を教えてくださいました。

その後は参加者には画面越しに「ミャンマークイズ」に挑戦してもらいました。スタッフが出したクイズに、ゲスト3名に回答と補足説明をしてもらいました。ミャンマーの通貨は紙幣を「チャット」と呼び、実物をカメラの前にアップで見せてくれたり、ミャンマーの伝統スポーツ、(サッカーに似ている)「チンロン」に使う竹製ボールもお披露目してくれたりしました。実際はメロン玉くらいのサイズだそうですが、この日はお土産用の小さいサイズを持ってきてくれました。その他、観光地「ゴールデンロック」の「3回行くと願いが叶う！」という言い伝えを教えてくださいたり、新年を迎える行事(=水かけ祭り)についても水を掛け合う意味、人々の過ごし方を教えてくださいました。

プログラムの最後は、日本の歌謡曲をミャンマー語で歌って曲名を当てるクイズをしました。ミャンマーでも日本の歌は人気だそうです。3名ともとても歌が上手で、2～3フレーズ歌うと参加者がチャット機能で回答してくれました。最後は世界中でお馴染み『上を向いて歩こう』（坂本九）を、参加者も一緒になってミャンマー語で歌いました。

現在ミャンマーはコロナ禍と国内情勢が安定していないことで気軽に旅行に行ける状態ではありませんが、いつか行けることを夢見て、まずは歴史や文化、人々の暮らしに関心を持って、インターネットなどで自分の興味のある事から調べてみるのもいいのではないのでしょうか。

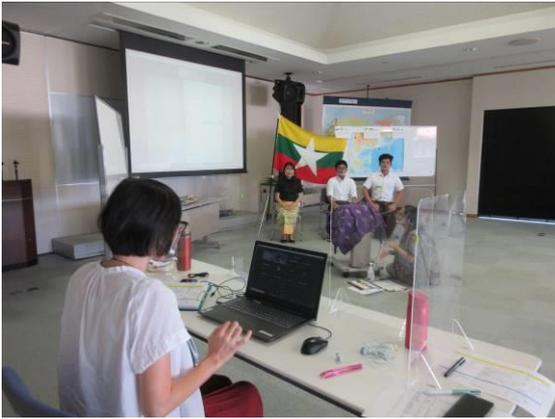
次回は11月26日（金曜日）、待ちに待った対面にて JICA 体育館にて開催予定です。詳細は後日お知らせ致します。

〈参加者の感想〉

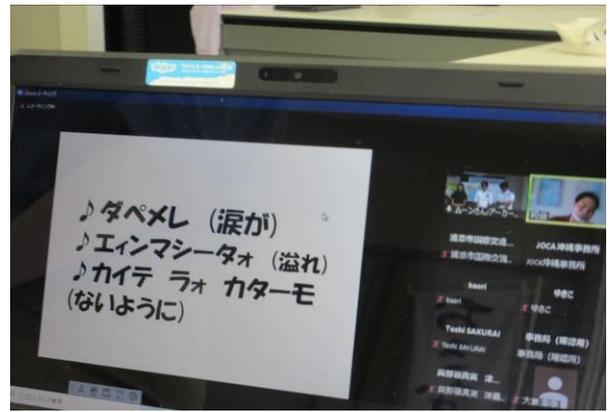
- ・曲当てゲームが良かったです
- ・クイズタイムがよく考えられていて良かったと思います。
- ・参加者が少なく残念。いつものふれあい講座のように、100人を目指してほしいです。
- ・参加申込みをしたのに、ZOOM リンクを知らせるメールが（URL）が届いていませんでした。（同じ意見が複数あり）

【お詫び】

開催前日に BCC 配信で zoom の URL を送っていたのですが、きちんと送信されなかった参加者が複数名いらっしゃいました。申し訳ございませんでした。考えられる原因として、BCC での連絡となったため、初めてメールのやり取りをする方へは迷惑フォルダに入って気付かれなかったり、セキュリティ設定によりメール自体が受信拒否となり届かなかった可能性があります。後日、申込まいただいた皆様には個別にお詫びのメールを送信しました。今後は BCC での一斉送信は行わず、個人アドレスの管理に留意したうえで各人宛個別送信を行うように致します。



スタジオの様子



上を向いて歩こう♪
画面を共有して歌いました



資料として写真や本物の「タナカ」
を持ってきてくれました。